

令和6年度 江戸川区立大杉小学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける活動		自分のよいところに気付く指導		友だち同士のよいところをお互いに紹介しあう指導 友達の気持ちを考えることができるようになる指導			他の人の大切さを認めることを中心にした指導			
各教科・読書科	理科「季節と生き物」 生き物を観察し、大切に育てる。		国語「いろいろな手紙」 相手の気持ちを考えて手紙を書く	国語「広がる読書の世界」 読書を通して人物の思いを考える		社会「ごみのしよりと利用」 リサイクルに興味を持ち、できることは進んでしようとする意識を高める	国語「言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ」 言葉によって伝わり方が異なることを知る	保健「育ちゆく心と体」 自分の体の成長について知り、自分や友達のことを大切に育てる。	国語「手話で挨拶をしよう」 声を使わないで考えや思いを伝える	社会「国際交流に取り組む町」 人々が協力して魅力ある街づくりをしていることを知る。	
特別の教科 道徳	親切、思いやり 思いやりの気持ちをつなげていくことのよさに気づき、進んで親切にしようとする意識を高める。	感動、畏敬の念 身の回りに美しいものがあり、美しいものに感動する心が自分にもあることに気づく。	公正、公平、社会正義 悪ふざけもいじめにつながることを理解し、いじめを許さない心を育てる。	善悪の判断 正しいと思ったことは、自信をもって行おうとする意識を高める。	礼儀 挨拶の力と大切さを知り、誰に対しても真心をこめた挨拶をする意識を高める。	感謝 自分を支えてくれている人々に尊敬と感謝の気持ちをもって接することができる。	友情、信頼 友達と互いに理解し合い、助け合おうとする意識を高める。	希望と勇気、努力と強い意志 自分で決めた目標に向かって諦めず最後まで努力しようとする意識を高める。	正直、誠実 過ちや失敗を素直に改め、正直で明るい心で生活しようとする意識を高める。	相互理解、寛容 自分の考えを相手に伝えるとともに、自分と異なる意見を大切にしていこうとする意識を高める。	生命の尊さ 命の大切さが分かり、自らの健康と安全のために努力することができる。
総合的な学習の時間				SNSノート 人によって、受け取り方がいる			わたしたちにできること 車いす利用者	わたしたちにできること ガイドヘルプ体	わたしたちにできること 通学路を調べ、		

				いるあることに 気付く。			の話を聞き、ど のような苦労や 困難さがあるか 知る。	験や点字ブロッ ク体験をし、視 覚障害者のこと を知る。	わたしたちにて きることを考え る。		
特別活動					係活動を見直 そう クラスがもっとよ くなるような係や 活動を考える。			人権標語の作 成 いじめ防止をテ ーマに作成す る。 人権週間	ありがとうの 木 友達にしてもら って嬉しかった ことを書き、親 切にしようとする 心情を育む。	係活動を見直 そう クラスがもっとよ くなるような係や 活動を考える。	
その他	1年生を迎える 会 1年生のことを 考えて一緒に入 場する。		運動会 助け合い、頑張 ったところは認 め合う心情を育 てる。				大杉芸術祭 作品鑑賞や発 表を通じて、自 分や友達の良 さを認め合う。	奉仕活動 協力して諸問 題を解決しよ うとする自主 的、実践的な態 度を養う	ピンクシャツ デー いじめにつ いて意識を高 める	6年生を送る 会 6年生への 感謝の気持ち を表す。	

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔ =関連的な指導 ≡ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。